



相生だより

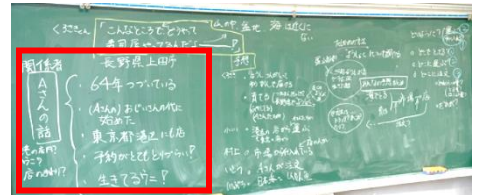
10月号 令和3年9月29日
大田区立相生小学校
校長 山口 勝己

「頑張りを認める」ということ

副校長 山崎 禎久

9月が終わり、東京都に発令されていた緊急事態宣言も解除の見通しが立ってきました。子どもたちは感染対策を確実に実行しながら学校生活を送る中で、子どもたちなりに、どのように生活をしていけばよいのかを考え、行動していくことができます。このことは、保護者の皆様や地域住民の皆様のご理解と御協力の賜物と考えております。本当にありがとうございます。引き続き、よろしくお願い致します。

さて、7月号の相生だよりでは、久しぶり(約5年ぶり)に学級担任を経験できたことについて書かせていただきました。2学期に入ってからも、1年生と5年生の学級で授業を行う機会に恵まれました。内容は全く違いますが、私が気付いたことは、どちらの授業でも「板書がびっしりになった!」ということです。しかし、私が説明した内容はほとんどありません。写真1の5年生では、 の部分だけが説明した内容であり、写真2の1年生に至っては、



【写真1】5年生授業での板書(社会科)



【写真2】1年生授業での板書(学級活動)

授業冒頭に書いた4つの「?」マークしか書いていません。残りはすべて、当日参加した児童の発言です。どの児童も、疑問に思ったことや、その疑問に対する予想や自分の考えを、集中して授業に参加する中で、一生懸命発言していました。発言していない児童も、ノートに自分の考えを書いたり、友達の発言に同意したりしてしっかりと授業に参加していました。授業終了時、私はどちらの学級でも、「こんなに考えて発言し

たり、授業に参加できたりするなんて、すごい!」と、感嘆の声を伝えました。すると、どちらもそれ以降、しっかりと落ち着きつつ、たくさんの発言で授業が活発になっていく様子が見られました。

先月、本校では「エール・ウィーク」の取組を実施しました。これは、各教員が確かな児童理解のもと、児童一人一人の頑張りを認め、伝えていくことで、すべての児童が自分を認めるとともに、自らのよさや可能性に気付き、自己肯定感を高めることができるようにすることをねらっています。

頑張りを認められ、一層自分を高めていく姿は、私が授業を行った2学級だけではなく、今回すべての学級で見ることができました。各学級の担任からは、「普段行っている『今日のキラキラ(頑張っていた人)』さがしについて、子ども同士で『今はエール・ウィークだよ。』と声を掛け合って、積極的に見付けていた。」といった取組の効果についての報告や、「担任が誉め言葉を使うことで、児童からも同様の言葉が聞こえるようになった。大人をよく見ていると改めて感じた。」といった、児童理解を深めることができたとの報告がありました。

どの子どもも、認められることを望み、認められたことで自信をつけ、さらに自分の力を伸ばしていくことができると考えます。御家庭でも、改めてお子さんの頑張り「だけ」を見つめ(私も一人の親として難しいことは承知していますが)、その良さを伝えるを通して、お子さんの力を伸ばしていただければと思います。

10月の
生活目標

◎健康的な生活をしよう

- ・遊んだ後、うがい、手洗いをしよう
- ・外で元気に体を動かそう
- ・うす着にし、衣服の調節をしよう